

九州ルーテル学院報 Luther No.15



エカード会館前の大きなクスノキ

こども園のアイドル
「メエコ」



校門から入ると出迎えてくれるのは・・・



本院院のシンボル「のいばり」

Contents

中学校から / 高校から	2
認定こども園から / 保育園から	3
大学から / 聖書の言葉	4
新入生の声	5
今年度の主な行事日程 / 新任教職員紹介・ご挨拶	6
学食トイレ・校地リニューアル / 創立100周年記念事業検討委員会	7
Luther information / 2018年度会計報告	8



新入生を迎えて

中学部長 田仲 洋介

2019年4月9日、真新しい制服を着た新入生が入学式に臨みました。今年度の入学生は88名。2001年の共学化以来、最大の入学生を迎えることができました。どの生徒も緊張した表情をしていましたが、厳粛な雰囲気の中、礼拝堂で第一歩を踏み出しました。

さて、これだけの入学生を迎えられたことは、この上ない喜びですが、その理由を新入生アンケートから窺ってみると、ルーテル学院中学校に対する大きな期待が見えてきます。第一位が「学校生活が楽しそうだから」、第二位が「英語教育が活発だから」、第三位が「クラブ活動が活発だから」、第四位が「学習活動が活発だから」、第五位が「生徒一人ひとりを大切にしているから」などとなっています。

この結果を受けて、我々教職員は、さらなる努力をして、しっかりと期待に応えていきたいと思えます。少子化の中、生徒募集が大変厳しいですが、現在のこの勢いを継続させて「ルーテル学院中学校に来て良かった」と言ってもらえるように取り組んでいきます。ちなみに熊本県内の私立中学校8校の中で、定員を満たしているのは、ルーテル学院中学校を含めて3校のみで、ルーテル学院中学校は、入学者数で県内第2位となっています。

では、その後の新入生の様子はどうかと聞いて、これが本当によく頑張っています。入学式の翌日の新入生オリエン

テーションも全員しっかりと参加できましたし、体力テスト、身体計測、防災訓練、実力テストなどもしっかりと行っことが出来ました。

最後に、新入生の修養会についてご紹介したいと思います。4月18日、19日の一泊二日の日程で、阿蘇なみの高原やすらぎ交流館で実施しました。初めての宿泊研修でしたが、生徒たちはキリスト教について学び、「感恩奉仕」について考え、友達との親睦を深めるなど充実した2日間を過ごせたようです。

新入生のことばかり書かせていただきましたが、もちろん上級生である2年生、3年生も頑張っています。3学年合計でルーテル学院中学校は、全校生徒の数が219名となりました。全体の人数も増えたことで、中学校全体が活気にあふれています。ルーテル学院中学校のこれらが本当に楽しみます。生徒・教職員・保護者が一体となって、ルーテル学院中学校がますます発展していけたら良いなと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



インマヌエルカレッジ短期留学報告

2018年度より新たに始まったインマヌエルカレッジ短期留学を体験した3名の高校生の留学報告です。

福田 あゆ

積極的に取り組む、これがオーストラリアに留学して私が一番学んだことだと思います。はじめは文法がぐちゃぐちゃでは通じないと思い、話しかけるのを躊躇していましたが、思い切って話しかけたことで、会話することが楽しくなってきました。また留学したいと思える充実した期間となりました。

金澤 萌香

私はオーストラリアで英語や異文化を勉強・体験したことにより、視野が大きくなってきたと思います。3カ月間という留学を通じて得ることができた、経験や体験、知識を、様々なところで今後役に立てたいと思っています。

寺本 乃得

私は3カ月のオーストラリア留学に行き、多くの初めての体験をしました。また、たくさんの人と触れ合っなかで、オーストラリアの文化についても理解を深めることが出来ました。学んだことをこれからの生活や進路決定に生かしていきたいです。

全国大会優勝者を対象とする恒例の祝賀会が開催されました。

2019年3月20日に、ホテルキャッスルでルーテル学院中学・高等学校全国大会優勝祝賀会が開催されました。高校水泳部の田上舞美さんは、力強く今後の抱負を語ってくれました。多くの関係者や学院教職員が参加し、田上さんをお祝いしました。



新緑の風の中で

園長 尾田 明子



入園から数か月が経ち、新緑の心地よい風の中、子ども園の朝は元氣なおはようの声と共に、ママとの別れを惜しむ泣き声でにぎわっている毎日です。《今この時にしかみられない母と子の尊い姿》をおして、人生の最も大切な体験をしている子どもたちに感動を憶える日々でもあります。

ネットやA-の台頭、環境破壊などが取り上げられている昨今、保育・教育の世界も大きくつねり、変化が生まれています。生来乳幼児教育は、未来の大人の姿を見据えて計画されていたはずなのですが、あまりの変化・進歩の速さから、時には早期教育への移行と勘違いしてしまう傾向が見受けられるようです。

ルーテル学院幼稚園は、70年にわたるキリスト教保育の幼児教育の中で、『子どもたちが生来持っているひとりひとり異なる力を遊びの中で伸ばしていく』ことを大切に歩んできました。ダンゴムシや小さなアリに気づいた子ども、充分賢さが育っていくように大切に幼児教育を続けてきました。幼い子どもへの探求心が、本物の賢さにつながっていることを、是非これからも大切に伝えていきたいと思っています。

子どもたちも将来の日本の国だけに留まらず、世界に目を向けていくことができるよう、ルーテル学院の教育環境の中で大きな自信をもって育ってほしいと思います。自分のやりたいことに向かって、心と体を十分働かせ、見通しをもって行動ができるようになること、ひとりひとり要求も興味も当然異なっていきます。人格の基礎を形成するこの時に、家族に愛され、いつも変わらない愛を神様から注がれていることを信じて幸せに育ってほしいと思います。この学院で育つ子どもたちが、家族や保育者の温かいまなざし・関わりの中で、逞しく生きる力を備え、他者を心から愛することのできる魅力的な大人になることを、こども園の職員全員が心から願ひ、日々の保育・教育に当たっています。

今年度、新卒・既卒を含め、3人のフレッシュな保育教諭が加わりました。また、5月の園庭では初めて「羊の毛刈り」が行われ、その際に保育教諭のフルート伴奏で子どもたちが讃美歌を歌うという経験もできました。大切な伝統を受け継ぎながら、新たな息吹も加え、更なる一步を踏み出したところですが、今年度も子どもたちの豊かな成長を温かく見守りたいと思います。

胸をふくらませて

九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園

3月の卒園式にはかわいらしいチューリップの花が咲き、4月の入園式には満開ともいえる桜の花が咲き、式を華やかにデコレーションしてくれました。

2018年度は11名の子どもたちが保育園を巣立ちました。卒園後、遊びにきてくれた子どもたちは懐かしむように、保育室を覗いたり自分の靴箱を確認したりしながら、心の中にホッとするような気持ちと新しい生活への勇気を抱いていたように感じました。

2019年度、6名の新入園児の子どもたちを迎え、39名のお子様との保育園生活が始まりました。0歳児クラスのお子様は保育士とのかわりの中で、にっこりと笑ったり、保育士の腕に抱かれながら心地よくミルクを飲んだりするなど、保育士の愛情の中で安心して過ごすことができるようになっています。



お別れ遠足

また、本園は、九州ルーテル学院大学付属黒髪乳児保育園となり、4年目を迎えました。今年の4月、本園を第1回目に卒園されましたお子様が小学校へ入

学されました。お子様たちの成長を大変喜んでおります。そして、入学式を終え、お父様お母様方と一緒にランドセル姿を保育園に見せに来てくださいました。「先生、1年2組になったよ。カード、ありがとう。」とランドセルと新1年生の黄色の帽子がよく似合い、希望に溢れる姿に心から「大きくなりましたね。おめでとう。」と感謝の気持ちでいっぱいになりました。

保育園という場所、保育者という存在が、在園児にとっても卒園児にとっても、『子どもの心の基地』になることを願いつつ、《私達はいつでもあなた方を愛していますよ》と伝え続けたいと思っています。

(主任保育士 雪野啓子)



入園式



5月16日ワートバーグ大学ウィンドアンサンブルのメンバーが来学されました。

ワートバーグ大学はアメリカ・アイオワ州にある、九州ルーテル学院大学と同じキリスト教ルーテル派の大学です。今回の日本演奏旅行は、特に九州ルーテル学院大学での演奏会や学生との交流を通じてさらに関係を強めたいという願いから実現したものです。演奏は約1時間（10曲）でしたが大学のチャペルに迫力のある管楽器や打楽器の素晴らしい響きが溢れ、学生や生徒、園児、教職員ら聴衆を魅了しました。時にはリズムカカルに、時には静かに、緩やかに演奏され、最後はコーラスで締めくくられました。キャリア・イングリッシュ専攻の生田博子さんから、指揮のハンコック教授に花束が贈呈されると、演奏の記念としてアイオワの写真集とバックパックが本学の広渡学長に贈られました。その後、キャリア・イングリッシュ専攻の金戸光里くんが流暢な英語でお礼を述べ、演奏会は終了しました。演奏会の後は、本学のラーニングコミュニティにてキャリア・イングリッシュ専攻の学生たちが英語でポスター・プレゼンテーションをし、ワートバーグ大学の学生のみなさんと活発な意見交換を行いました。さらに夜は本学の学生たちが10班に分かれて熊本の町を観光案内し、夕食をとるとる等、懇親の時を持ちました。両大学の学生たちにかげえのない思い出ができたようです。

ワートバーグ大学ウィンドアンサンブルの皆さんは熊本の演奏会後、京都の龍谷大学での演奏会を終え、帰米しました。



「聖書の言葉」

中高チャプレン 崔 大凡



「ハレルヤ。いかに幸いなことか 主を畏れる人 主の戒めを深く愛する人は。彼の子孫はこの地で勇士となり 祝福されたまっすぐな人々の世代となる。彼の家には多くの富があり 彼の善い業は永遠に堪える。まっすぐな人には闇の中に光が昇る 憐みに富み、情け深く、正しい光が。」（詩編112編1〜4節）

ジエームズ・ハドソン・テラー（1832年5月21日〜1905年6月3日）というイギリスの宣教師がいました。テラーは清で51年を過ごしながら、800人の宣教師を呼び、125の学校を開校し、18,000人のキリスト教への回心者を生んだと言われています。宣教師することが今より厳しい時代であった、文化の葛藤、迫害、危険を覚悟しなければならぬ働きであったと思います。「どつやって厳しい状況の中で宣教を続けることができただか」という質問に対して彼はこう答えたそうです。「音楽会が終わってからはピアノを調律しません。演奏する前に調律します。同じように一日が始まる前に魂を調律することがその秘訣です。」

次は「ハドソン・テラーの祈り」として知られている言葉です。「どんな人の生涯にも、先を急ぐことも、道を開くこともやめ、大きな業をなすこともやめ、休まなければならない時がある。主権者のみ心のままに、じっと立ち止まるべき時がある。熱気を帯びた語り合いをやめ、ため息をつくこともせず。荒野の叫びを上げることやめて、ただ黙っていななければならない時がある。主権者のみ心のままに、じっと静まる時がある。休止と沈黙が声を合わせて静かに絶えず二重唱を歌うのだ。おお、人の魂よ、神の御計画には休みがない。人の助けを求めるときもない。立ち止まって、見よ、静かにして、悟れ。」

偉大な業や人物を思い起こす時、私たちはその人物の凄さや情熱だけを思いがちかも知れません。しかしテラーは、事が始まる前に、立ち止まり、静まって「聞く」ことの大切さを教えています。急に何かを始めることをやめ、主権者なる神のみ心を聞くことを勧めています。その沈黙と安らぎは私たちの命の本来の在り方でもあります。そうやって安らぎ、整ってからそれぞれの業と時に向かう。想像するだけでも、過ちや動揺を避け、より良い姿でそれぞれの時を生きることができそうです。それが礼拝と祈りが与える一つのプレゼントです。

こども園から中高、大学まで、礼拝と祈りをもって生活する私たちの学院です。整った姿と心で学びに向い、それを通してますます私たちの命と成長の豊かさを感じることが出来ますように。互いに整え、聞き合いましょ。

★2019年度 学院の主な行事日程★

入学(園)式

大 学：4月3日(水)
 高 校：4月9日(午後)(火)
 中 学：4月9日(午前)(火)
 こども園：4月6日(土)
 保 育 園：4月4日(木)

運 動 会

大 学：6月1日(土)
 高 校：5月18日(土)(於パークドーム)
 中 学：5月25日(土)
 こども園：10月12日(土)
 保 育 園：10月5日(土)(大学体育館)

夏 休 み

大 学：8月7日(水)～9月23日(月)
 高校・中学：7月20日(土)～8月26日(月)
 こども園：7月20日(土)～9月2日(月)

文 化 祭

大 学：11月3日(日)
 高校・中学：10月18日(金)
 ※大学ではホームカミングデーも同時開催

クリスマス礼拝

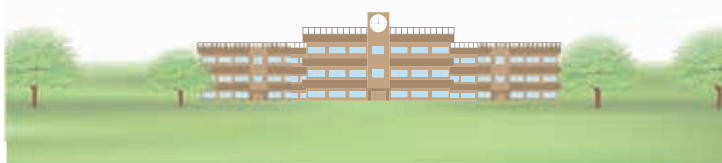
大 学：12月18日(水)
 高校・中学：12月24日(火)
 こども園：12月14日(土)

冬 休 み

大 学：12月24日(火)～1月3日(金)
 高校・中学：12月25日(水)～1月7日(火)
 こども園：12月28日(土)～1月3日(金)
 保 育 園：12月29日(日)～1月3日(金)

卒業(園)式

大 学：3月13日(金)
 高 校：2月28日(金)
 中 学：未 定
 こども園：3月18日(水)
 保 育 園：3月12日(木)



新任教職員ご挨拶

初めまして

こども園 保育教諭 田村 香織



今年度よりこども園 ルーテル学院幼稚園の保育教諭として勤務しています田村香織です。3月まで平成音楽大学に在学し、幼児音楽教育を学び就職後は音楽の大好きなクラス作りを目指し、勉強してきました。

現在、年中4歳児の担任として、毎日季節の歌・讃美歌を歌い、覚えていく歌の楽しさを子どもたちが味わえるようにしています。

自由遊びでは、園児と共に野原のピーピー豆探しやダンゴムシ探し探検をして春の遊びを楽しんでいます。

ルーテル学院という大きな輪の一員に加わることができ、責任の重さを感じながらも心から感謝しております。新任で至らぬ面も多いと思いますが、新社会人らしく、日々学びながら成長していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

新任教職員紹介

坂根 シルック (大学 人文学科 准教授)	栗原 和弘 (大学 心理臨床学科 教授)	木村 稚摩 (中高 臨採教諭 英語)	岩下 雅明 (中高 臨採教諭 英語)	中野 靖士 (中高 専任教諭 理科)	本田 拓也 (中高 臨採教諭 数学)	エリカ ブライヤ (中高 J3実習助手)	ウエントラシ (中高 J3実習助手)
高屋 えり (中高 臨採教諭 国語)	田川 美喜子 (中高 臨採教諭 音楽)	瑞泉 邦子 (大学 学生支援センター職員)	瑞泉 邦子 (大学 学務・入試センター職員)	家郷 里翔 (大学 学生支援センター職員)	ブラウン コリンズ (中高 J3実習助手)	糸山 遥 (認定こども園 専任保育教諭)	田村 香織 (認定こども園 専任保育教諭)



●● 学院会館1F(学食)女子トイレ リニューアル完了! ●●



学院会館1階の女子トイレを使いやすく、またきれいにする目的で、トイレファンドを利用してのリフォーム工事を行い、ついにリニューアルが完了しました。

1期工事を2017年度に、男子トイレ1か所を含む5か所のトイレを和便器から温水洗浄便座付きの洋便器に改修し、2期工事では、2018年度に女子トイレと洗

面所のすべての床・壁・天井・パーテーション・照明・洗面器具・鏡を新調し、明るく、きれいで、そして使いやすいトイレにリニューアルすることができました。

多くの方が使用する癒しの空間です。きれいに使っていただけだと幸いです。



●● 中高駐輪場となりの土地を購入 ●●

2017年12月に、緒方様より336㎡を譲り受け、今年の3月に熊本市より市道29㎡の払下げを受け、3方向を学校用地に囲まれたこの土地を無事に登記することができました。

今後は、校内から入れるようにブロック積・フェンス工事等を行い、365㎡の希少な土地として有効に利用したいと思います。

法人事務局 所埜泰行



創立100周年記念事業検討委員会 発足について

2019年4月4日、創立100周年記念事業検討委員会が発足しました。委員は大学から2名、中高から2名、こども園から1名、法人から1名の合計6名でスタートしました。

1回目の会議では、理事長、院長の挨拶に始まり、委員会の目的・任期について確認しました。この委員会の最大の目的は、100周年記念事業委員会につながるための準備委員会であるということことです。そのために、①100周年記念事業として何を計画するのかの原案づくり、②100周年記念事業委員会の組織図の作成、③100周年までの工程表の作成を大きなテーマとしています。

2回目の会議では、学院全教職員に配布したアンケートの集計をもとに、①の100周年記念事業として何を計画するのかを議論しました。アンケートの結果は、各部署ごとに様々なものが出されていました。中高プールの改修、中高体育館の新設、大学のバリア

フリー化、大学教室の教育環境整備、こども園の教室増加、そして最大の懸案である中高本館の新設などです。

委員長 田仲 洋介

委員会はまだまだ始まったばかりですが、2026年10月3日の創立100周年記念日まであと約7年となりました。皆様のご協力をいただきながら、より良い準備となるように頑張りたいと思います。



2019年度 オープンキャンパス・サマースクール等・こひつじの会・なかよし保育のお知らせ



★大学

7/27(土) オープンキャンパス
8/24(土) オープンキャンパス
10/26(土) 個別相談会

★高校

7/13(土) オープンキャンパス
9/7(土) オープンキャンパス
11/16(土) 入試直前アドバイス会

★認定こども園 (こひつじの会)

～こども園が行う子育て支援
(未就園児親子の集い)～

こひつじの会(毎月第2・第4火曜日開催)は、リズムあそびやロールマットでからだを動かします。その後は、楽しいおやつと季節に応じた工作、絵本の読み聞かせのプログラムを準備しております。開催日の変更もありますので、事前にお問合せください。(☎096-343-3968)

★中学校

6/15(土) 学校説明会
7/29(月)～7/31(水) サマースクール
9/21(土) 入試説明会
11/16(土) 入試直前アドバイス会

★保育園 (なかよし保育)

～園開放(地域の親子の遊び場の提供)～

地域の幼稚園や保育園に行っておられない親子の遊び場の提供として、なかよし保育(園開放)(毎週火曜日)を行っています。毎月給食体験・身体測定・育児相談などを行っています。子育ての悩みや疑問も保育士や他のお母さんたちと話す中で解決できるかも・・・楽しい遊びや行事もあります。是非ご参加ください。(☎096-343-5017)

◇事業活動収支計算書(学院全体)

2018年4月1日から2019年3月31日まで(単位:千円)

		科目	決算額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,294,696
		手数料	27,166
		寄付金	12,877
		経常費等補助金	660,994
		国庫補助金	95,673
		地方公共団体補助金	565,321
		付随事業収入	74,313
		雑収入	20,224
		教育活動収入計	2,090,269
		人件費	1,394,355
	教育研究経費	466,133	
	管理経費	195,408	
	徴収不能額等	73	
教育活動支出計	2,055,969		
教育活動収支差額		34,300	
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	76
		教育活動外収入計	76
	事業支出の部	借入金等利息	4,566
		教育活動外支出計	4,566
		教育活動外収支差額	△4,490
経常収支差額		29,810	
特別収支	事業収入の部	その他の特別収入	4,656
		特別収入計	4,656
	事業支出の部	資産処分差額	616
		特別支出計	616
特別収支差額		4,041	
〔予備費〕			
基本金組入前当年度収支差額		33,851	
基本金組入額合計		△121,687	
当年度収支差額		△87,836	
前年度繰越収支差額		△2,033,246	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△2,121,082	
(参考)			
事業活動収入計		2,095,002	
事業活動支出計		2,061,151	

*千円未満四捨五入の為、各費目の合計額と各合計欄とは一致しない。

◇貸借対照表

2019年3月31日現在(単位:千円)

		科目	年度末
資産の部	固定資産	固定資産	4,735,060
		有形固定資産	4,453,125
	土地	1,494,760	
	建物	2,012,880	
	その他の有形固定資産	945,485	
	特定資産	269,805	
	その他の固定資産	12,130	
	有価証券	50	
	その他の固定資産	12,080	
	流動資産	791,923	
	現金預金	706,364	
その他の流動資産	85,559		
資産の部合計		5,526,983	
負債の部	固定負債	648,120	
	長期借入金	346,378	
	その他の固定負債	301,742	
	流動負債	233,059	
	短期借入金	71,366	
その他の流動負債	161,693		
負債の部合計		881,179	
純資産の部	基本金	6,766,886	
	第1号基本金	6,603,886	
	第4号基本金	163,000	
	繰越収支差額	△2,121,082	
純資産の部合計		4,645,804	
負債及び純資産の部合計		5,526,983	

会計報告 2018(平成30)年度

本法人の2018年度決算は、表のようになりました。より詳しい報告は、大学ウェブサイトの「情報公開」の「財務報告書」と「事業報告書」をご覧ください。

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。基本金組入前当年度収支差額は(経常利益に相当)3,300万円となり前年度決算より約6,300万円の減少となりました。

収入の基礎となる園児・生徒・学生の募集は順調です。

また、学内美化への取り組みの第一弾として学院会館1階女子トイレの改修工事を行いました。これからも順次実施の予定です。

その他、中高3号館南側隣接地の購入や照明器具のLED化等の施設設備投資を行い総額1億2千万円を1号基本金に組入れました。

このようにして、園児・生徒・学生からの校納金は確実に教育環境の改善と財務体質の強化に活かされていることを、感謝してご報告します。

(事務局長・百家裕幸)